

保護者の皆様

令和5年9月29日

川崎市立柿生中学校
校長 石井 秀明

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

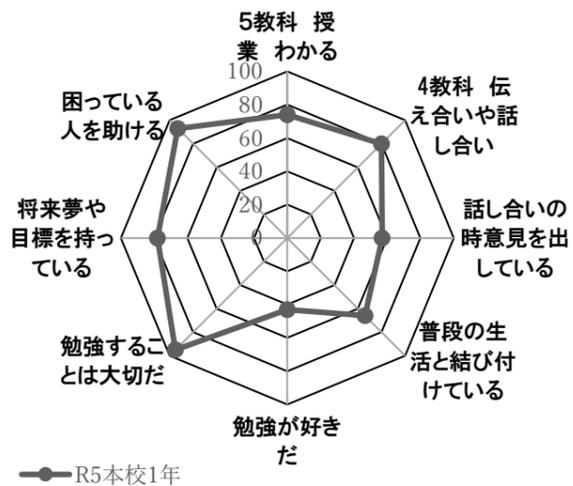
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月13日(木)に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日(火)に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面です。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標

- 思考力を養う
- 美しさを感じ、思いやりのある心を養う
- 自主・協力の態度を養う
- 健康の保持と体力の増進を図る

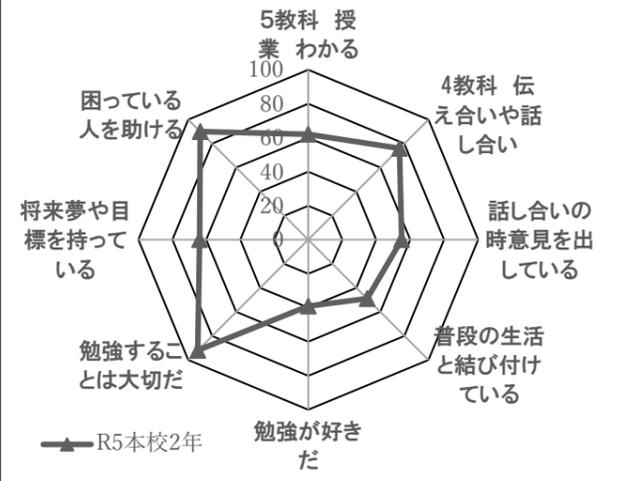
学校教育目標ならびに今年度の学校経営方針を実現するため、育成を目指す生徒像として、「**伝え合い、学び合い、高め合うことができる生徒**」を掲げています。

令和5年度 川崎市学習状況調査 1年生



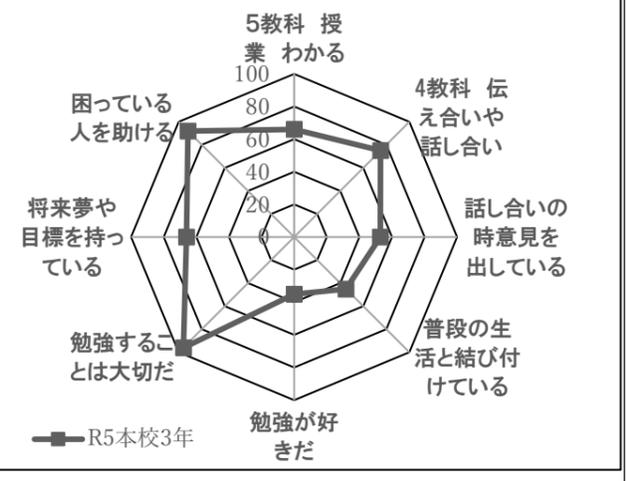
- ・「5教科 わかる」は74ポイントでした。毎時間の学習のねらいを明確にし、生徒自身が見通しをもって学習に取り組み、授業の終わりには振り返りを行うことで、「わかる実感」を得られるような授業を目指します。
- ・「話し合いの時意見を出している」は57ポイントでした。本校の育成を目指す生徒像「伝え合い、学び合い、高め合うことができる生徒」を踏まえ、生徒が自分の意見を持ち、お互いの意見を認め合い尊重し合いながら、伝え合い学び合える活動を重視していきます。
- ・「勉強することは大切だ」は95ポイントでした。それに対して、「勉強が大好きだ」は43ポイントでした。勉強が自分の将来に向けて大切だと理解する一方で、勉強は好きではないと考える生徒が半数以上でした。日々の授業で生徒自身が課題意識をもって授業に臨んだり、話し合い活動等で他者の考えを聞く時間をつくり、新たな発見をする機会を作ったりと、学ぶことが楽しいと思えるような活動を重視します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 2年生

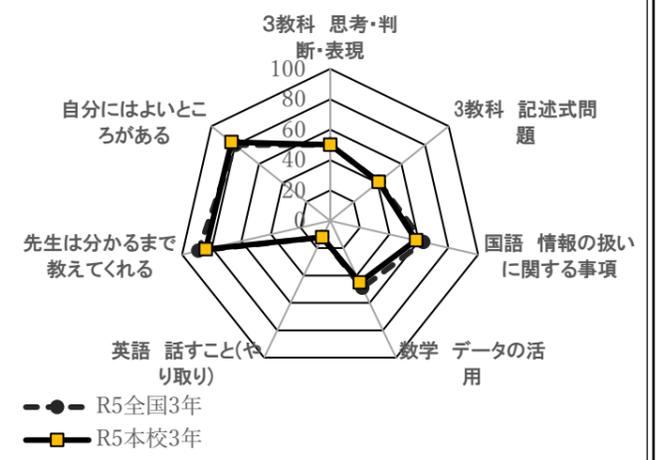


- ・「5教科 わかる」は62ポイントでした。「勉強が大好きだ」は39ポイントでしたが、「勉強することは大切だ」は92ポイントとなっており、学習に強い苦手意識がある反面、その必要性を多くの生徒が感じているのが現状で、学習意欲の向上に向けて更なる働きかけが必要とされています。毎回の授業におけるねらいを明確にし、生徒が理解を深めながら見通しをもって学習に取り組めるよう、授業内容の工夫と改善を行います。
- ・「困っている人を助ける」は90ポイントでした。一方で「普段の生活と結び付けている」は49ポイントでした。社会の役に立ちたいと思っている生徒が多い反面、学習したことを社会と自分とのつながりとして実感しにくい様子が見られます。各教科の学習や総合的な学習の時間、特別活動との相互の連携を図りながら、夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎が築けるような学習活動を重視します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 3年生



全国学力・学習状況調査 3年生



- ・「5教科 わかる」は66ポイントでした。「先生が分かるまで教えてくれる」も80ポイント以上だったものの、全国平均は下回りました。生徒の理解度を見極めつつ、今まで以上に分かる授業の工夫と改善に努めるとともに、生徒が「わかる実感」を得られるように授業改善を行います。
- ・「伝え合いや話し合いの活動」は本校の目指す生徒像である、『伝え合い学び合い高め合う』の通り実施できていますが、「話し合いで意見を出している」と答えた生徒はおよそ半数となっているため、発問の工夫をすることで誰もが発言をしやすい課題づくりを目指します。「思考・判断・表現」は全国と同水準でした。しかし、「国語の情報の取り扱い」や「数学のデータの活用」、「英語の話すこと」など、学んだことを生かして比較したり関連付けたりする活動は全国をやや下回りました。生徒が主体的で協動的な学びを通じて学んだことを生かして比較したり関連付けたりできるような活動を重視します。
- ・「将来の夢や目標を持っている」については、66ポイントの生徒が肯定的な回答をしました。「自分にはよいところがある」も全国平均を上回りました。自分自身の長所に目を向けながら、学習したことを「普段の生活と結び付け」て考えられるように授業改善を行い、自分を見つめ、良さを感じ、生き方を考える活動を重視します。